

MIRACLE System Savior システム要件

2015/06/30

■対応OS

Windows (x86/x86-64)	Linux (x86/x86-64)	仮想環境 (x86-64)
- Microsoft Windows 2000 - Microsoft Windows Server 2003 (R2) - Microsoft Windows Server 2008 (R2) - Microsoft Windows Server 2012 (R2) - Microsoft Windows Storage Server 2012 (R2)	- Red Hat Enterprise Linux 3, 4, 5, 6, 7 - CentOS 3, 4, 5, 6, 7 - MIRACLE LINUX V3, V4, V5, V6, V7 - SUSE Linux Enterprise Server 10, 11 - Oracle Linux 5, 6	- VMware ESX 3.5, 4.x - VMware ESXi 4.x, 5.x, 6.x - Microsoft Hyper-V 2008(R2) - Red Hat Enterprise Virtualization, KVM - Red Hat Storage 2.1 - Citrix XenServer 5.x, 6

※x86/x86-64のいずれのプラットフォームを含みます。

※全てのServicePack、アップデート、マイナーバージョン、製品バリエーションを含みます。

※対応仮想環境のハイパーバイザレベルのバックアップ、仮想マシンレベルのバックアップに対応します。

※仮想マシンの対応OSも上記対応OS (Windows/Linux) と同様になります。

※VMware ESX/ESXiの仮想マシンの場合、バックアップ取得時SCSIコントローラタイプが"LSI Logic"である必要があります。

※XenServerの仮想マシンの場合、完全仮想化のみに対応します。

※「MIRACLE System Savior for Imation RDX 320GB」は、USBデバイスブートが可能なマシンのみにご利用いただけますVMware仮想マシンなどはUSBデバイスブート未対応のためご利用いただけませんのでご注意ください。

※エクステンション追加によるデータストアの拡張を行っていないVMware環境には対応していません。

■対応ファイルシステム

Windows	Linux	VMwareESX
- FAT16 - FAT32 - NTFS	- Ext2 - Ext3 - Ext4 - XFS - Swap - LVM	- VMCORE - VMFS3 - VMFS5

※VMCORE及び上記以外のデータはddにてバックアップリストアを実施します。

※対応ファイルシステムのデータは、使用済みブロックのみバックアップリストア対象となります。

※Linux LVM, Swap はリストア時に再作成されます。

■対応ストレージインターフェイス

バックアップ対象	バックアップ保存先
- P-ATA/S-ATA - SCSI - SAS - USB - FC SAN - FCoE	- NFS - NAS - Windows共有フォルダ - Samba - USBストレージ - USBメモリ

※FC SAN環境ではSAN BOOT, FCマルチパスに対応します。

※CD-R / DVD-Rなどの光学メディアやテープデバイスに直接バックアップを保存することはできません。

※バックアップ保存先は、mountコマンドでマウントでき、バックアップデータが保存するのに十分な領域が必要です。

※ローカル/SAN上にバックアップを保存する場合LVM論理ボリュームをバックアップ保存先として選択することはできません。

ローカル/SAN上をバックアップ保存先として使用する場合はLVMを構成していないファイルシステムを指定するか、ファイルサーバを保存先としてください。

■対応クラスタソフト

Windows	Linux	XenServer
- LifeKeeper for Windows V7 - CLUSTERPRO X 2.x/3.x for Windows - Microsoft Cluster Service (MSCS) - Microsoft Failover Cluster (MSFC)	- LifeKeeper for Linux V8 - CLUSTERPRO X 2.x/3.x for Linux - Oracle 10gR2/11gR2 Real Application Clusters - Oracle Real Application Clusters - Red Hat Cluster Suite (RHCS) - HP Serviceguard Solution for Linux (11.20, 12.00)	- everRun MX - everRun 2G - VMware HA

※x86/x86-64のいずれのプラットフォームを含みます。

※データミラーリング型のクラスタの場合、リストア後の全体ミラー再同期が必要です。

※Windows Server 2008 R2までのMSFC (MSCS) の場合、OS本体のディスク(パーティション)と同時にクォーラムディスクのバックアップリストアが必要です。Windows Server 2012以降のMSFCの場合、クォーラムディスクのバックアップリストアは不要です。

※Oracle RACの場合、Oracle Cluster Registryのバックアップリストアが別途必要です。

※everRunの場合、Shared Storage Data Protection (SSDP)構成は対象外になります。

※VMware HAの場合、ハイパーバイザ、仮想マシンともにバックアップ対象として対応しています。

MIRACLE System Savior システム要件

2015/06/30

■リカバリイメージ対応メディア

4.7GB	8.5GB	25GB～
・DVD-R (4.7GB) ・DVD+R (4.7GB) ・DVD-RW (4.7GB) ・DVD+RW (4.7GB) ・DVD-RAM (4.7GB)	・DVD-R DL (8.5GB) ・DVD+R DL (8.5GB)	・BD-R (25GB,50GB) ・BD-RE (25GB,50GB)

※DVD/BRメディアで起動できるドライブが必要です。

■対応ハードウェア

>HP

- ・HP ProLiant ML/DL/BL/SL
- ・HP StoreEasy

>IBM

- ・IBM System x/Flex System/NeXtScale

>Cisco

- ・Cisco UCS, Unified Communications

>富士通

- ・PRIMERGY

>ストラタス

- ・ftServer

>NEC

- ・Express5800シリーズ

※対応機種詳細は、以下の URLを参照してください。

対応OS、対応ハードウェアなど製品に関する最新情報、及び注意事項は弊社サイトを御覧ください。

<http://www.miraclelinux.com/product-service/mss/environment>